

# 2017年度 第1四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2017年8月14日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

## 2017年度第1四半期 業績 (2017年4月~6月)

(単位：億円)

	2016年度1Q	2017年度1Q	対2016年度 1Q	為替影響	為替影響除く
売上高	5,458 100.0%	5,715 100.0%	257 4.7%	34	223 +4.1%
営業利益	295 5.4%	358 6.3%	63 21.5%	-9	72 +24.5%
税金等調整前 四半期純利益	236 4.3%	576 10.1%	340 2.4倍	64	276 2.2倍
当社株主帰属 四半期純利益	121 2.2%	438 7.7%	317 3.6倍	44	273 3.3倍
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	26.79円	100.06円	73.27円	＜その他増減要因（対前年度）＞ 営業利益 原材料：-14億円	
為替：米ドル	108円	111円	3円安		
為替：ユーロ	122円	122円			

まずはじめに、提出期限を延長していました2016年度の有価証券報告書を7月31日に提出いたしましたことをご報告いたします。

また、2016年度の訂正四半期報告書、2015年度以前の訂正有価証券報告書および四半期報告書を同日に提出いたしました。

本決算説明における過年度決算の業績はすべて監査が終了しております。

それでは、2017年度第1四半期の業績をご説明いたします。

売上高は、電子映像事業、電子材料事業、メディカルシステム事業などで売上を伸ばし、前年比4.7%増の5,715億円となりました。

営業利益については、各事業において収益性の改善を進め、前年比21.5%増の358億円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、和光純薬工業の連結子会社化による和光株式の評価益を計上したことなどにより、前年比2.4倍の576億円、当社株主帰属四半期純利益は、前年比3.6倍の438億円と大幅増益となりました。

## セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位：億円)

売上高	1Q		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2016年度	2017年度			
イメージング	778	850	72 (+9.2%)	12	60 (+7.7%)
ヘルスケア	803	913	110 (+13.8%)	7	103 (+12.9%)
インフォメーション	2,050	2,300	250 (+12.2%)	23	227 (+11.1%)
ドキュメント	2,630	2,565	-65 (-2.5%)	-1	-64 (-2.4%)
合計	5,458	5,715	257 (+4.7%)	34	223 (+4.1%)

\*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	1Q		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2016年度	2017年度			
イメージング	56	126	70 (2.2倍)	4	66 (2.2倍)
ヘルスケア	-10	-8	2 (赤字縮小)	0	2 (赤字縮小)
インフォメーション	151	189	38 (+25.8%)	5	33 (+22.3%)
ドキュメント	162	117	-45 (-28.1%)	-18	-27 (-17.0%)
全社/連結調整	-74	-74	0	0	0
合計	295	358	63 (+21.5%)	-9	72 (+24.5%)

続いて、セグメント別の状況についてご説明します。

イメージング ソリューション部門の売上高は、  
前年比9.2%増の850億円、  
営業利益は、前年比2.2倍の126億円となりました。

インフォメーション ソリューション部門の売上高は、  
前年比12.2%増の2,300億円  
営業利益は、前年比25.8%増の189億円となりました。

インフォメーションソリューション部門のうち、ヘルスケアの売上高は  
前年比13.8%増の913億円、  
営業利益は、赤字が縮小し、マイナス8億円となりました。

ドキュメント ソリューション部門の売上高は、  
前年比2.5%減の2,565億円、  
営業利益は前年比28.1%減の117億円となりました。

## セグメント別 概況

## ■ イメージング ソリューション

(単位：億円)				
売上高	対前年度		営業利益	前年比
850	72	(+9.2%)	126	70 (2.2倍)

- ・ フォトイメージングでは、5月発売の「instax SQUARE SQ10」などのインスタントカメラ“チェキ”とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移。「WALL DECOR」などの付加価値プリントビジネスも堅調。
- ・ 電子映像では、2月発売の大型センサー搭載中判ミラーレス「FUJIFILM GFX 50S」や「FUJIFILM X-T20」を中心にミラーレスデジタルカメラ及び交換レンズの販売が好調。
- ・ 光学デバイスでは、各種産業用レンズの販売が堅調に推移。放送用レンズでは、4月から3機種の4K対応放送用ズームレンズの販売を開始。

**電子映像事業の売上が大幅に増加。  
各事業も好調に推移し、増収大幅増益**

3

まずイメージング ソリューション部門についてご説明します。

フォトイメージングでは、インスタントカメラ“チェキ”、チェキフィルムなどのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移しました。5月に発売を開始した「instax SQUARE SQ10(インスタックス スクエア エスキュー テン)」の販売も好調で、幅広い世代から支持されています。また、「WALL DECOR(ウォールデコ)」などの付加価値プリントビジネスも堅調に推移しました。

電子映像では、2月に発売した大型センサー搭載中判ミラーレス「FUJIFILM GFX 50S」や「FUJIFILM X-T20」「FUJIFILM X100F」を中心としたXシリーズのミラーレスデジタルカメラおよび交換レンズの販売が好調に推移し、売上が増加しました。

光学デバイスでは、各種産業用レンズの販売が堅調に推移しました。4月から、新たに3機種の4K対応放送用ズームレンズの販売を開始しました。7機種に増えた充実のラインアップで、先進の4K分野をリードしていきます。

イメージング ソリューション部門は、電子映像事業が大幅に売り上げを伸ばしたほか、各事業の販売が好調に推移し、対前年増収大幅増益となりました。

## セグメント別 概況

## ■インフォメーション ソリューション

インフォメーションソリューション				(単位：億円)	
売上高	対前年度	営業利益	前年比		
2,300	250 (+12.2%)	189	38 (+25.8%)		
其、ヘルスケア				(単位：億円)	
売上高	対前年度	営業利益	前年比		
913	110 (+13.8%)	-8	2 (赤字縮小)		

- ヘルスケアで、メディカルシステムは、体外診断(IVD)システム、内視鏡を始めとした各分野で販売が好調に推移。バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移。医薬品は、T-817MAの臨床第Ⅱ相試験が終了、FF-10101の臨床第Ⅰ相試験を開始するなどパイプラインの開発を着実に推進しています。
- 高機能材料で、ディスプレイ材料は、VA用フィルムやIPS用フィルムに加え、有機EL関連などの新規分野での販売が堅調に推移し売上が増加。産業機材は、「エクスクリア」の販売が好調。電子材料は先端フォトリソ周辺材料の販売が好調に推移し、売上が増加。4月に高機能化成品や研究開発に用いる試薬のビジネス拡大を図るためファインケミカル事業部を設立。
- 記録メディアは、データストレージ用磁気テープの販売が堅調に推移し、売上が増加。
- グラフィックシステムは、製版・刷版材料の総需要減により売上は減少。刷版材料は、無処理版など高付加価値製品の拡販を進め、シェアの拡大を図る。インクジェット事業はインク及び産業用インクジェットヘッドなどの販売が堅調に推移。

電子材料事業・メディカルシステム事業などの販売好調に加え  
各事業の収益性向上により増収大幅増益

続いてインフォメーション ソリューション部門です。

ヘルスケアのうち、メディカルシステムは、成長分野である体外診断(IVD)システム、内視鏡を始めとした各分野で販売が好調に推移しました。

バイオCDMOは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移しました。

医薬品は、T-817MAの臨床第Ⅱ相試験が終了、FF-10101の臨床第Ⅰ相試験を開始するなどパイプラインの開発を着実に推進しています。

再生医療は、「ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング」の販売が堅調に推移、売上に貢献しました。

ライフサイエンスは、美白化粧品「アスタリフト ホワイト ブライトローション」や機能性表示食品「メタバリアS」などの販売が好調に推移し、売上が増加しました。

高機能材料のうち、ディスプレイ材料は、VA用フィルムやIPS用フィルムに加え、有機EL関連などの新規分野での販売が堅調に推移し、売上が増加しました。

産業機材は、「エクスクリア」の販売が好調に推移しました。

電子材料は、当社の先端フォトリソ周辺材料などの販売が大手顧客を中心に伸長し、売上が増加しました。

また、4月にファインケミカル事業部を新設し、高機能化成品や研究開発に用いる試薬のビジネス拡大を図っていきます。

記録メディアは、独自技術に基づく「BaFe（バリウムフェライト）磁性体」を使用したデータストレージ用磁気テープの販売が堅調に推移し売上が増加しました。

グラフィックシステムでは、製版・刷版材料の総需要減により売上は減少しました。刷版材料については、高い環境性能を持つ無処理版など高付加価値製品の拡販を進め、シェアを伸ばしていきます。

インクジェットは、インク及び産業用インクジェットヘッドなどの販売が堅調に推移しました。

インフォメーション ソリューション部門は、電子材料事業やメディカルシステム事業などで売り上げを伸ばしたことに加え、各事業の収益性向上により増収大幅増益となりました。

## セグメント別 概況

## ■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
2,565	-65 (-2.5%)	117	-45 (-28.1%)

(単位：億円)

- オフィスプロダクトは、クラウド連携を実現する主力カラー複合機「ApeosPort- VI C/ DocuCentre- VI C」シリーズの販売が国内、中国で好調に推移。
- オフィスプリンターは、中国でモノクロ機、カラー機の販売が好調に推移。
- プロダクションサービスは、国内においてプロダクションカラー機「Versant 3100 Press」「Versant 180 Press」の販売が好調に推移。
- グローバルサービスは、アジア・オセアニア地域で売上が減少。国内は、マネージド・プリント・サービスが堅調に推移。

オセアニア地域での販売減少により減収  
為替によるマイナス影響などにより減益

5

ドキュメント ソリューション部門については、

オフィスプロダクトは、クラウド連携を実現する主力カラー複合機「ApeosPort- VI C(アペオスポート シックス シー)/DocuCentre- VI C(ドキュセンター シックス シー)」シリーズの販売が国内、中国で好調に推移しました。

オフィスプリンター事業は、中国でモノクロ機、カラー機の販売が好調に推移しました。

プロダクションサービスは、国内においてプロダクションカラー機「Versant 3100 Press(バーサント 3100プレス)」および「Versant 180 Press(バーサント180プレス)」の販売が好調に推移しました。

グローバルサービスは、アジア・オセアニア地域で売上が減少しましたが、国内はマネージド・プリント・サービスが堅調に推移し売上が増加しました。

ドキュメントソリューション部門は、一時的なオセアニア地域での販売減少により減収、また、為替によるマイナス影響や海外における一部製品の市場対策費用の引き当てなどにより減益となりましたが、オペレーションベースでは前年同等の収益性を確保しています。引き続き、グローバルサービス等の成長領域の拡大や、アジア・オセアニア地域でのさらなる拡販を進めるとともに、経費削減及び原価改善施策の追加・加速等で収益性を高めていきます。

## 連結貸借対照表

					(単位：億円)				
	15年度末	16年度末	17年6月末	対16年度末		15年度末	16年度末	17年6月末	対16年度末
現金及び現金同等物	6,009	8,760	7,954	-806	長短社債及び借入金	3,657	5,588	6,136	548
受取債権	6,436	6,358	5,959	-399	支払債務	2,571	2,579	2,493	-86
棚卸資産	3,492	3,392	3,915	523	その他流動固定負債	4,572	4,484	4,445	-39
その他流動資産	1,726	1,838	1,381	-457	負債計	10,800	12,651	13,074	423
流動資産計	17,663	20,348	19,209	-1,139	株主資本計	20,148	20,436	21,053	617
有形固定資産	5,326	5,206	5,519	313	非支配持分	2,172	2,245	2,347	102
営業権	5,069	4,998	5,969	971	純資産計	22,320	22,681	23,400	719
投資有価証券 その他資産	5,062	4,780	5,777	997	負債・純資産 合計	33,120	35,332	36,474	1,142
固定資産計	15,457	14,984	17,265	2,281	(単位：円)				
資産合計	33,120	35,332	36,474	1,142	期末日 為替レート	15年度末	16年度末	17年6月末	対16年度末
					米ドル	113	112	112	0
					ユーロ	128	120	128	8円安

次に、バランスシートについてご説明します。

2017年6月末時点の資産合計は、

営業権などの増加により、2017年3月末時点と比べ、1,142億円増の3兆6,474億円となりました。

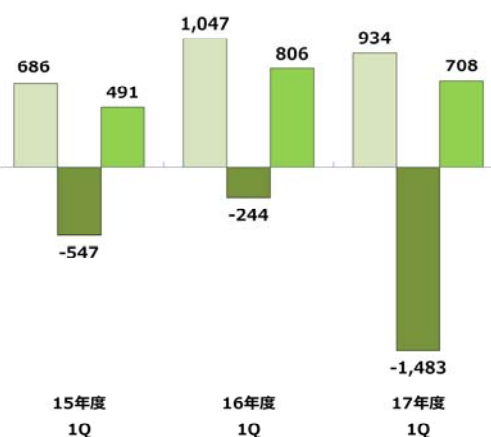
負債は423億円増の1兆3,074億円、株主資本は617億円増の2兆1,053億円となりました。

流動比率は、12.8ポイント減の286.4%、負債比率は0.2ポイント増の62.1%、株主資本比率は0.1ポイント減の57.7%となりました。

## キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー  
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー  
■ フリー・キャッシュ・フロー（事業買収除く）

（単位：億円）



（単位：億円）

	15年度 1Q	16年度 1Q	17年度 1Q
四半期純利益	263	149	476
減価償却費	295	305	307
受取債権の増(-)減(+)	615	767	745
棚卸資産の増(-)減(+)	-244	-198	-306
営業債務の増(+)-減(-)	-129	-17	-212
その他	-114	41	-76
営業活動によるC F	686	1,047	934
設備投資	-138	-203	-134
ソフトウェアの購入	-58	-32	-33
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	74	78	-72
事業買収	-352	-3	-1,257
その他	-73	-84	13
投資活動によるC F	-547	-244	-1,483
フリー・キャッシュ・フロー	139	803	-549
事業買収除くフリー・キャッシュ・フロー	491	806	708

続いて、キャッシュ・フローについてご説明します。

営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、934億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、和光純薬工業の事業買収などにより、1,483億円の支出となりました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローはマイナス549億円となりました。



## 2017年度 連結業績予想 (2017年8月14日時点)

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	対前年度
売上高	23,222 100%	24,600 100%	1,378 +5.9%
営業利益	1,723 7.4%	1,850 7.5%	127 +7.4%
税金等調整前 当期純利益	1,948 8.4%	2,000 8.1%	52 +2.7%
当社株主帰属 当期純利益	1,315 5.7%	1,250 5.1%	-65 -4.9%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	296.27円	285.55円	-10.72円
ROE	6.5%	6.0%以上	-
為替 : 米ドル	108円	110円	2円安
: ユーロ	119円	120円	1円安
銀価格 (/kg)	59,000円	62,000円	-

\* 2017年度 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円、ユーロ：8億円

8

2017年度の連結業績予想ですが、  
2017年6月12日に発表済みの予想からは変更しておりません。

第1四半期は、全社トータルでは計画通り進捗しています。  
第2四半期以降も通期業績予想達成に向けて、引き続き成長戦略を推進するとともに、さらなる拡販と収益性の改善を強力に進めていきます。

なお、2017年度を初年度とする3カ年中期経営計画の発表は、今月8月30日を予定しております。

日時、場所の詳細につきましては、別途ご案内いたします。

以上、2017年度第1四半期決算及び通期業績予想についてご説明いたしました。

# FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拓けるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>

2017年度第1四半期 決算説明会

## ガバナンス強化の取り組みについて

## ガバナンス強化の取り組み

当社の課題・対応策(6月12日発表)	進捗状況
<b>1 富士フィルムホールディングス(FH)のガバナンス体制強化</b>	
①取締役を12名から9名に削減し、取締役会の機動的な運営と審議の活性化、経営の意思決定迅速化	2017年6月 FH定時株主総会にて取締役選任を承認
②社外取締役比率を1/3に高め、意思決定の透明性をさらに高める	
<b>2 グループ会社ガバナンス及び業務管理プロセスの強化</b>	2017年7月 ガバナンス強化委員会設置 (委員長：FH社長 助野)
①組織体制の見直し 富士ゼロックス(FX)の経理・監査などの経営管理部門を、FHと統合し、業務管理プロセス強化	2017年9月 経理及び監査部門統合予定 業務管理プロセス強化施策決定
②FHからFXへの人材派遣 a) FHからFXへ取締役および経営管理実務責任者を派遣 b) グループ内の人材交流を一層拡大	2017年6月 FX定時株主総会にてFHから派遣される会長、副社長、専務執行役員、常務執行役員など計7名の選任を承認
③グループ内部統制の強化 a) 関係会社経営管理のガイドライン拡充 b) グループ内報告体制の再構築と強化 ・ FXからFHへの報告体制の再構築と強化 ・ FXおよびその関係会社内の報告体制の再構築と強化 ・ 意思決定に関する会議体再構築と強化 c) コンプライアンス教育の強化・再徹底と人材育成強化	2017年7-8月 全部門長および全グループ会社社長に対する コンプライアンス研修実施 2017年8月 グループ会社管理部を新設

最後に、富士ゼロックス株式会社の海外販売子会社における不適切会計を受け、ガバナンスの強化に取り組んでおりますが、6月12日に発表した当社の対応策について、進捗状況をご説明します。

まずは、富士フィルムホールディングスのガバナンス体制強化についてです。

取締役を12名から9名に削減、さらに社外取締役比率を1/3に高める変更について、6月29日の定時株主総会にて決議され、新体制による運用を開始しております。

次に、グループ会社ガバナンス及び業務管理プロセスの強化についてです。

1つ目の組織体制の見直しでは、9月中に富士フィルムホールディングスと富士ゼロックスの経理部、監査部の統合を行う予定です。また、業務管理プロセス強化として、リースや売上基準の管理を含む経理改善施策及び内部監査の強化施策を定めていきます。

2つ目の富士フィルムホールディングスから富士ゼロックスへの経営人材派遣では、6月に会長の古森が富士ゼロックス代表取締役会長に就任したほか、富士フィルムホールディングスから副社長、専務執行役員、常務執行役員など計7名の役員を派遣しました。

3つ目のグループ内部統制強化では、7月と8月に全部門長および全グループ会社社長に対するコンプライアンス研修を実施しました。当社グループ社員として果たすべき社会的責任やコンプライアンス意識についての認識を深めるべく、社長の助野より説明を行いました。今後、部門長およびグループ会社社長を通じて、全グループ社員に展開していきます。

さらに、8月には当社の子会社およびその傘下の子会社を管轄するグループ会社管理部を富士フィルムホールディングスに新設しました。関連部門と連携し、グループ会社の経営のモニタリングと支援、ガバナンスに必要なルール・規程類を整備、運用等を行います。

また、ガバナンス強化を徹底的かつ継続的に実施するべく、7月に社長の助野を委員長とするガバナンス強化委員会を設置するなど、包括的なプロジェクト体制を整えました。現在課題別にプロジェクトを推進しています。

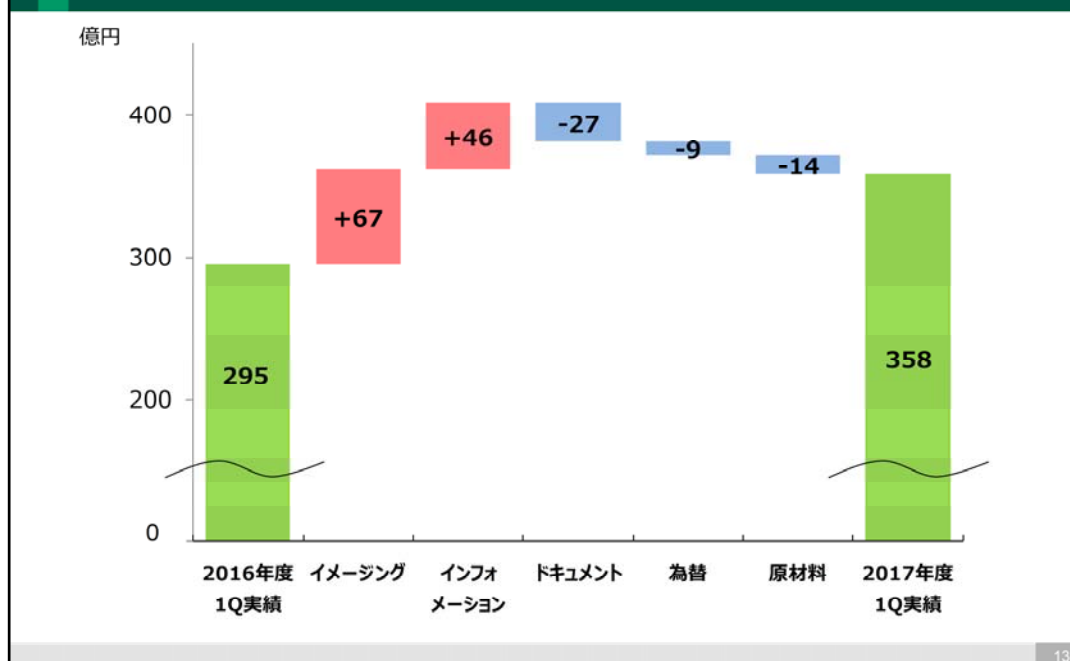
引き続き、ガバナンス強化への取り組みを進めていくとともに、その進捗状況については継続してお伝えしていきます。

ご静聴いただき、ありがとうございました。

2017年度第1四半期 決算説明会

参考資料

## 営業利益増減分析(対前年1Q実績)



<当スライドは配付資料です>

## 1Q 業績

## ■ イメージング ソリューション

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
フォトイメージング	537	538	1 (+0.2%)	-7 (-1.2%)
電子映像	159	223	64 (+40.1%)	61 (+38.5%)
光学デバイス	82	89	7 (+7.8%)	6 (+6.5%)
光学・電子映像	241	312	71 (+29.1%)	67 (+27.6%)
合計	778	850	72 (+9.2%)	60 (+7.7%)

\*セグメント間取引消去後

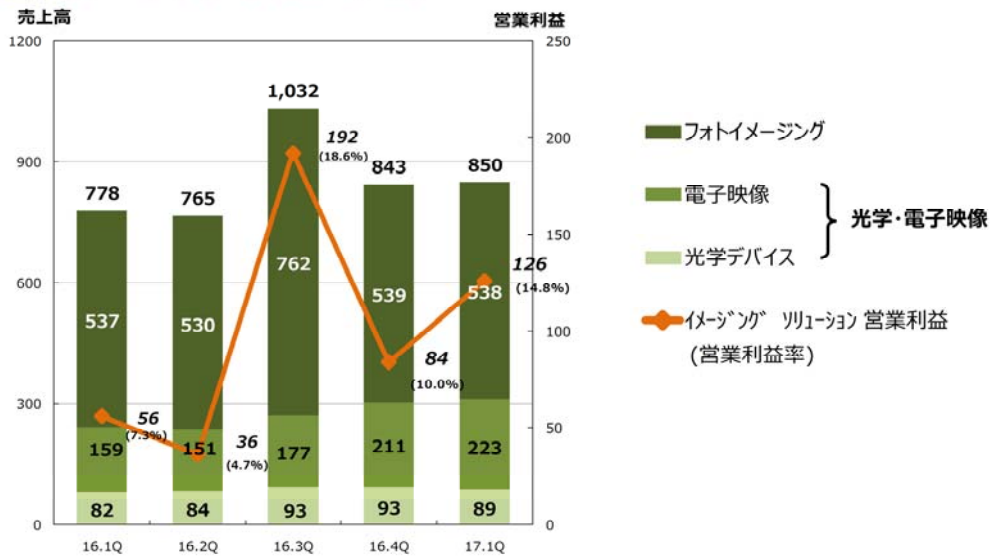
営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
イメージング	56 [7.3%]	126 [14.8%]	70 (2.2倍)	66 (2.2倍)

14

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

### ■ イメージング ソリューション (単位: 億円)



<当スライドは配付資料です>



## 1Q 業績

## ■ インフォメーション ソリューション

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	803	913	110 (+13.8%)	103 (+12.9%)
ディスプレイ材料	237	243	6 (+2.6%)	6 (+2.6%)
産業機械/電子材料 ファインケミカル	253	421	168 (+66.7%)	160 (+63.7%)
高性能材料	490	664	174 (+35.7%)	166 (+34.1%)
記録メディア	98	116	18 (+17.8%)	15 (+14.9%)
グラフィックシステム/インクジェット	641	606	-35 (-5.6%)	-40 (-6.5%)
その他	18	1	-17	-17
合計	2,050	2,300	250 (+12.2%)	227 (+11.1%)

\*セグメント間取引消去後

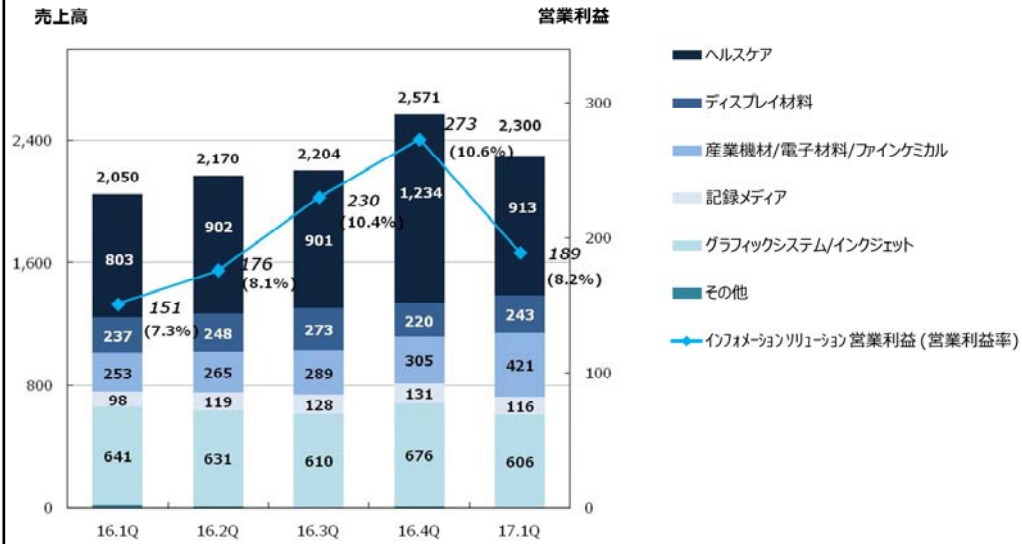
営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2016年度	2017年度	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	-10 [-1.2%]	-8 [-0.9%]	2 (赤字縮小)	2 (赤字縮小)
インフォメーション	151 [7.3%]	189 [8.2%]	38 (+25.8%)	33 (+22.3%)

16

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

### ■ インフォメーション ソリューション (単位：億円)



<当スライドは配付資料です>

## 1Q 業績

## ■ ドキュメント ソリューション

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2016年度	2017年度	対前年度	
			為替影響除く	
オフィスプロダクト	1,197	1,152	-45 (-3.8%)	-45 (-3.8%)
オフィスプリンター	392	386	-6 (-1.6%)	-5 (-1.4%)
プロダクションサービス	335	329	-6 (-2.0%)	-6 (-1.9%)
グローバルサービス	444	430	-14 (-3.0%)	-11 (-2.4%)
その他	262	268	6 (+2.4%)	3
合計	2,630	2,565	-65 (-2.5%)	-64 (-2.4%)

\*セグメント間取引消去後

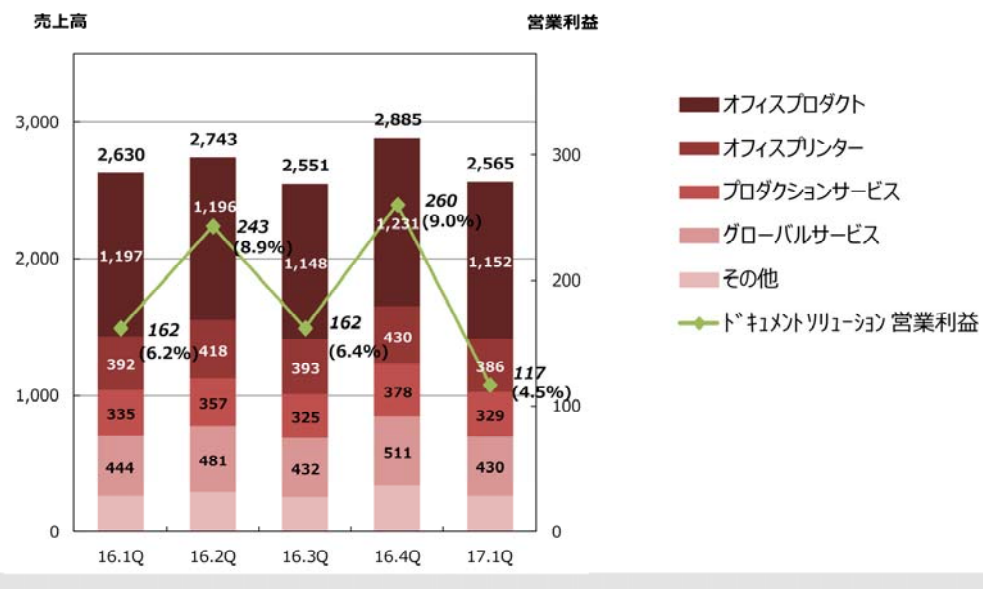
営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2016年度	2017年度	対前年度	
			為替影響除く	
ドキュメント	162 [6.2%]	117 [4.5%]	-45 (-28.1%)	-27 (-17.0%)

18

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

### ■ ドキュメントソリューション (単位: 億円)



<当スライドは配付資料です>

## 国内・海外別連結売上高

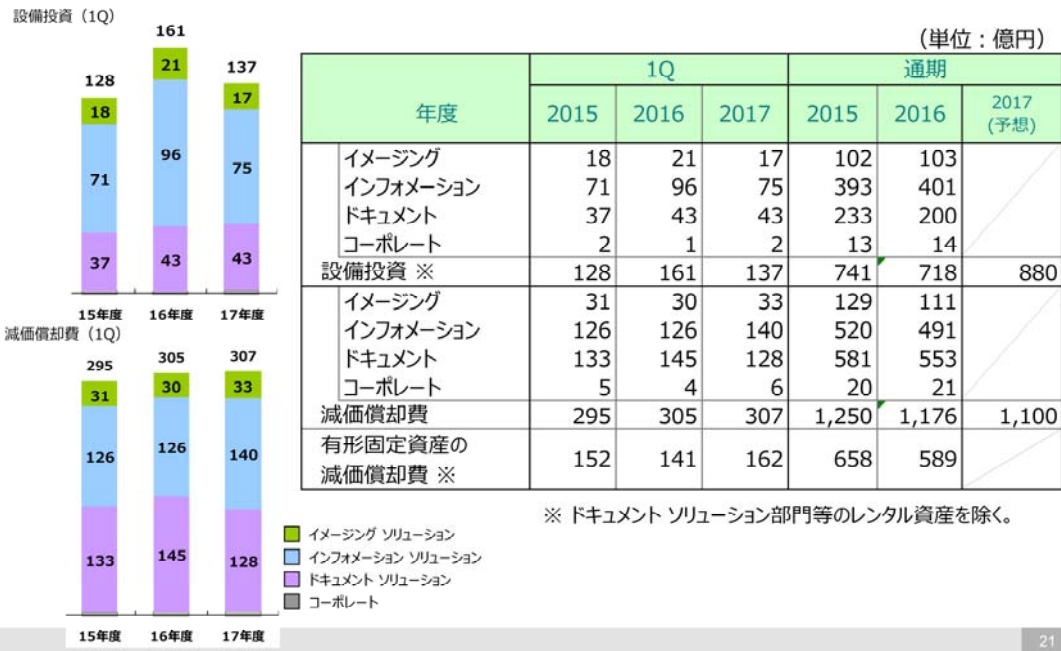
(単位：億円)

	2016年度1Q		2017年度 1Q		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	40.1%	2,189	40.5%	2,315	126	(+5.7%)
米州	20.0%	1,091	19.8%	1,131	40	(+3.6%)
欧州	11.8%	645	12.0%	684	39	(+6.1%)
内、中国	11.6%	633	12.4%	710	77	(+12.2%)
アジア他	28.1%	1,533	27.7%	1,585	52	(+3.4%)
海外	59.9%	3,269	59.5%	3,400	131	(+4.0%)
合計	100.0%	5,458	100.0%	5,715	257	(+4.7%)

20

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

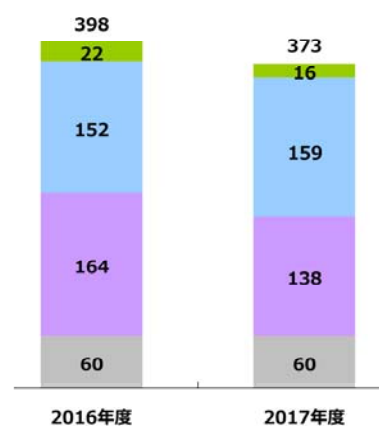
## 設備投資、減価償却費



<当スライドは配付資料です>

## 研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費 (1Q)



■ イメージングソリューション  
■ インフォメーションソリューション  
■ ドキュメントソリューション  
■ コーポレート

(単位：億円)

年度	1Q		通期	
	2016	2017	2016	2017 (予想)
イメージング	22	16	82	
インフォメーション	152	159	662	
ドキュメント	164	138	615	
コーポレート	60	60	243	
研究開発費	398	373	1,602	1,660
<売上高比>	7.3%	6.5%	6.9%	6.7%
販売費及び一般管理費	1,511	1,579	5,981	
<売上高比>	27.7%	27.6%	25.8%	

22

<当スライドは配付資料です>

## 為替、原材料価格、人員

### 為替

(単位：円)

	2016年度					2017年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
米ドル	108	102	110	114	108	111	110
ユーロ	122	114	118	121	119	122	120

### 原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2016年度					2017年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
銀	57	63	59	63	59	63	62

### 人員

(単位：人)

	2016.6末	2016.9末	2016.12末	2017.3末	2017.6末
連結	78,882	78,976	78,665	78,501	80,672

<当スライドは配付資料です>



## 2016年度1Q決算の修正

(単位：億円)

	修正前 2016年度1Q	2016年度1Q	対修正前 2016年度1Q
売上高	5,470 100.0%	5,458 100.0%	-12
営業利益	276 5.0%	295 5.4%	19
税金等調整前 当期純利益	217 4.0%	236 4.3%	19
当社株主帰属 当期純利益	112 2.0%	121 2.2%	9
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	24.76円	26.79円	2.03円
為替 : 米ドル	108円	108円	
: ユーロ	122円	122円	

24

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## セグメント別(イメージング ソリューション) 2015年度・2016年度四半期決算の修正

(単位：億円)

売上高	2015年度 修正前					2015年度 修正後									
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
フォトイメージング	583	618	750	548	2,499	591	8	617	-1	750	0	537	-11	2,495	-4
電子映像	163	162	153	162	640	163	0	162	0	153	0	162	0	640	0
光学デバイス	103	102	91	98	394	103	0	102	0	91	0	98	0	394	0
光学・電子映像	266	264	244	260	1,034	266	0	264	0	244	0	260	0	1,034	0
合計	849	882	994	808	3,533	857	8	881	-1	994	0	797	-11	3,529	-4

\*セグメント間取引消去後

営業利益	2015年度 修正前					2015年度 修正後									
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
イメージングソリューション	45	79	141	57	322	55	10	78	-1	140	-1	47	-10	320	-2

(単位：億円)

売上高	2016年度 修正前					2016年度 修正後					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異
フォトイメージング	526	530	762	537	11	530	0	762	0		
電子映像	159	151	177	159	0	151	0	177	0		
光学デバイス	82	84	93	82	0	84	0	93	0		
光学・電子映像	241	235	270	241	0	235	0	270	0		
合計	767	765	1,032	778	11	765	0	1,032	0		

\*セグメント間取引消去後

営業利益	2016年度 修正前					2016年度 修正後					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異
イメージングソリューション	53	36	192	56	3	36	0	192	0		

25

<当スライドは配付資料です>

セグメント別(インフォメーション ソリューション)  
2015年度・2016年度四半期決算の修正

(単位：億円)

売上高	2015年度 修正前					2015年度 修正後									
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
ヘルスカフ	880	1,040	1,033	1,282	4,235	839	-41	1,005	-35	994	-39	1,176	-106	4,014	-221
ディスプレイ材料	209	247	258	245	959	209	0	247	0	258	0	245	0	959	0
産業用IC電子材料 フインクセル	253	269	271	268	1,061	253	0	269	0	271	0	268	0	1,061	0
高機能材料	462	516	529	513	2,020	462	0	516	0	529	0	513	0	2,020	0
記録メディア	108	110	122	126	466	108	0	110	0	122	0	126	0	466	0
グラフィックシステム/インクジェット	715	740	699	696	2,850	715	0	740	0	699	0	696	0	2,850	0
その他	16	17	18	20	71	16	0	17	0	18	0	20	0	71	0
合計	2,181	2,423	2,401	2,637	9,642	2,140	-41	2,388	-35	2,362	-39	2,531	-106	9,421	-221

\*セグメント別修正済

営業利益	2015年度 修正前					2015年度 修正後									
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
インフォメーション ソリューション	149	199	269	324	941	135	-14	191	-8	268	-1	313	-11	907	-34

(単位：億円)

売上高	2016年度 修正前					2016年度 修正後				
	1Q	2Q	3Q	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	
ヘルスカフ	831	970	948	803	-28	902	-68	901	-47	
ディスプレイ材料	237	248	273	237	0	248	0	273	0	
産業用IC電子材料 フインクセル	253	265	289	253	0	265	0	289	0	
高機能材料	490	513	562	490	0	513	0	562	0	
記録メディア	98	119	128	98	0	119	0	128	0	
グラフィックシステム/インクジェット	641	631	610	641	0	631	0	610	0	
その他	18	5	3	18	0	5	0	3	0	
合計	2,078	2,238	2,251	2,050	-28	2,170	-68	2,204	-47	

\*セグメント別修正済

営業利益	2016年度 修正前					2016年度 修正後				
	1Q	2Q	3Q	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	
インフォメーション ソリューション	150	177	241	151	1	176	-1	230	-11	

<当スライドは配付資料です>

## セグメント別(ドキュメントソリューション) 2015年度・2016年度四半期決算の修正

売上高	2015年度 修正前					2015年度 修正後									
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
オフィスプロダクト	1,255	1,312	1,216	1,277	5,060	1,247	-8	1,300	-12	1,208	-8	1,272	-5	5,027	-33
オフィスプリンター	515	486	424	495	1,920	515	0	486	0	424	0	495	0	1,920	0
プロダクションサービス	380	425	368	419	1,592	376	-4	418	-7	360	-8	406	-13	1,560	-32
グローバルサービス	440	503	466	553	1,962	439	-1	499	-4	460	-6	542	-11	1,940	-22
その他	289	321	285	312	1,207	293	4	317	-4	285	0	312	0	1,207	0
合計	2,879	3,047	2,759	3,056	11,741	2,870	-9	3,020	-27	2,737	-22	3,027	-29	11,654	-87

\*セグメント間取引消去後

営業利益	2015年度 修正前					2015年度 修正後									
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
ドキュメントソリューション	241	242	196	270	949	222	-19	245	3	174	-22	238	-32	879	-70

(単位: 億円)

売上高	2016年度 修正前					2016年度 修正後				
	1Q	2Q	3Q	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	
オフィスプロダクト	1,189	1,188	1,135	1,197	8	1,196	8	1,148	13	
オフィスプリンター	392	418	393	392	0	418	0	393	0	
プロダクションサービス	336	357	323	335	-1	357	0	325	2	
グローバルサービス	446	482	433	444	-2	481	-1	432	-1	
その他	262	291	253	262	0	291	0	253	0	
合計	2,625	2,736	2,537	2,630	5	2,743	7	2,551	14	

\*セグメント間取引消去後

営業利益	2016年度 修正前					2016年度 修正後				
	1Q	2Q	3Q	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	
ドキュメントソリューション	146	223	149	162	16	243	20	162	13	

27

<当スライドは配付資料です>

## 2017年度 連結業績予想 (2017年8月14日時点)

(単位：億円)

	2016年度	2017年度 上期	2017年度 下期	2017年度	対前年度
売上高	23,222 100%	11,800 100%	12,800 100%	24,600 100%	1,378 +5.9%
営業利益	1,723 7.4%	640 5.4%	1,210 9.5%	1,850 7.5%	127 +7.4%
税金等調整前 当期純利益	1,948 8.4%	845 7.2%	1,155 9.0%	2,000 8.1%	52 +2.7%
当社株主帰属 当期純利益	1,315 5.7%	500 4.2%	750 5.9%	1,250 5.1%	-65 -4.9%

28

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## 2017年度 セグメント別業績予想 (2017年8月14日時点)

(単位: 億円)

売上高	2016年度	2017年度	対前年度
イメージング	3,418	3,500	82 (+2.4%)
ヘルスケア	3,840	4,350	510 (+13.3%)
インフォメーション	8,995	10,100	1,105 (+12.3%)
ドキュメント	10,809	11,000	191 (+1.8%)
合計	23,222	24,600	1,378 (+5.9%)

\*セグメント間取引消去後

営業利益	2016年度	2017年度	対前年度
イメージング	368	430	62 (+16.7%)
ヘルスケア	124	150	26 (+21.0%)
インフォメーション	830	880	50 (+6.1%)
ドキュメント	827	860	33 (+4.0%)
全社/連結調整	-302	-320	-18
合計	1,723	1,850	127 (+7.4%)

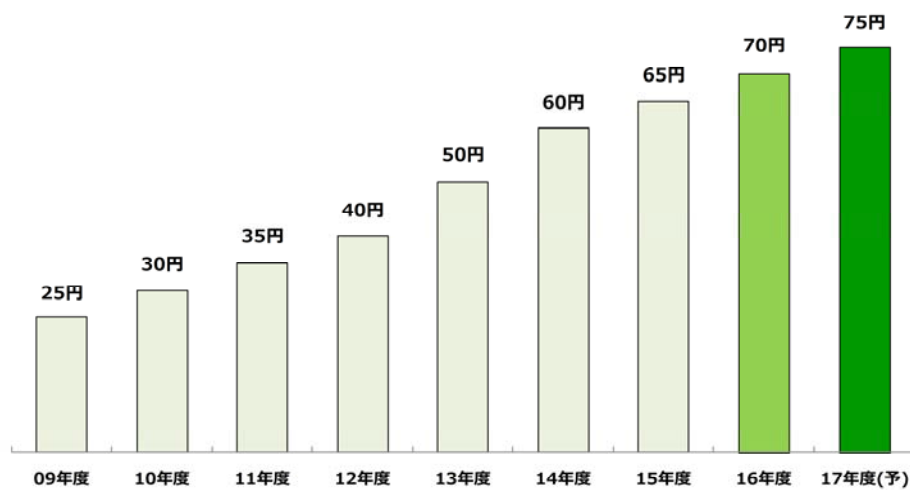
29

&lt;当スライドは配付資料です&gt;

## 株主還元

## ■ 配当金

2017年度の配当金は、8期連続増配となる対前年 5 円増配の75円/株を予定



<当スライドは配付資料です>

## パイプライン (2017年8月14日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本 米国	承認済み Ph III 実施中
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認申請中
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I 終了
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国 日本	Ph II 終了 Ph II 終了
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	Ph III 実施中
ITK-1	去勢抵抗性前立腺がん治療薬	注射	日本	Ph III 実施中
FF-10501	再発・難治性骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本 米国	Ph I 終了 Ph II 実施中
FF-10502	進行・再発膵がん/卵巣がん治療薬	注射	米国 欧/日	Ph I 実施中 Ph I 準備中
FF-21101	進行・再発非小細胞肺癌/脾がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国 欧/日	Ph I 実施中 Ph I 準備中
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)		日本	Ph II 実施中
FF-10101	再発・難治性急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I 実施中
FF-10102	自己免疫疾患治療薬	経口	米/欧/日	非臨床試験実施中

※持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクス (FKB) のFKB327 (アタリムマブバイオシミラー) は、欧州申請中。FKBとアストラゼネカ社のJ VのFKB238 (ベバシズマブバイオシミラー) は、米国、欧州、その他でPh III実施中。

31

<当スライドは配付資料です>



## 参考情報

### 富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

### 富士フィルムホールディングス アニュアルレポート2016

[http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/annual\\_reports/2016/index.html](http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/annual_reports/2016/index.html)

### IRイベント資料

[http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir\\_events/business\\_presentations/index.html](http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html)

#### ・事業説明会資料

- 2016年 5月 ドキュメント事業説明会
- 2016年 12月 医薬品・再生医療事業説明会
- 2017年 3月 エレクトロニクスマテリアルズ (EM) 事業説明会

### 富士フィルムってどんな会社？

[http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual\\_guidance/index.html](http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual_guidance/index.html)

32

<当スライドは配付資料です>

# FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拓けるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>